

令和2年度宇都宮市の予算

「生きる市民が豊かで幸せに生活できるまち」を目指して

令和元年10月の台風第19号の経験を踏まえ、「総合的な治水・雨水対策」を推進し、より一層災害に強いまちを実現していくとともに、将来にわたって持続的に発展できるまちづくりを実現するため、6つの「未来都市」の実現と「スマートシティ^(※1)」「SDGs^(※2)未来都市」につながる施策・事業に優先的・重点的に取り組みます。

問 財政課 ☎ (632) 2063

魅力創造・交流の未来都市

- 本社機能移転・オフィス企業立地に対する支援 (1,024万円)
 - ▼ 新規雇用、事務所改修費、賃借料に対する助成。
- 大谷地域の観光の振興 (1億3,897万円)
 - ▼ 観光交通社会実験などを通して大谷地域の交通環境向上策の検討。
 - ▼ 旧大谷公会堂を活用した拠点機能の整備に向けた設計。
- 自転車の国際レースの開催による誘客 (1億8,862万円)
 - ▼ ジャパンカップ・サイクルロードレース映像放映の通信環境向上に向けた整備。
- スポーツを活用した地域活性化 (1億2,157万円)
 - ▼ 東京2020オリンピック開催に合わせた「3×3」のまちの推進。
- 外国人の誘客促進 (1,944万円)
 - ▼ 外国人旅行者向け観光コンテンツの魅力向上・発信の実施。
- 中心商店街の賑わいづくり (3億5,977万円)



交通の未来都市

都市空間

- JR宇都宮駅東口地区整備の推進 (7,086万円)
 - ▼ コンベンション施設の着工、催事の誘致活動など。
- JR宇都宮駅西口周辺地区整備の推進 (2,830万円)
- JR宇都宮駅西側LRT沿線のまちづくり (400万円)
 - ▼ LRT沿線のまちづくり方針の策定。
- JR宇都宮駅東側LRT沿線のまちづくり (663万円)
 - ▼ 平出町トランジットセンターゾーンの整備に向けた用地測量の実施。
- 個性ある景観の形成 (500万円)
 - ▼ LRT沿線における景観形成重点地区指定などの検討。



交通

- LRT整備の推進 (126億9,748万円)
 - ▼ JR宇都宮駅東側の整備。
 - ▼ JR宇都宮駅西側の事業化に向けた調査の実施。
- 公共交通の充実・利用促進 (8億2,837万円)
 - ▼ 交通ICカード導入への支援。
- 生活交通確保対策事業の推進 (2億2,590万円)
 - ▼ 市街地部における生活交通の導入支援。
- 都市計画道路の整備 (4億3,669万円)
- 道路新設改良事業の推進 (24億862万円)
- 自転車のまち宇都宮の推進 (2億7,063万円)

産業・環境の未来都市

産業

- 企業立地・定着の促進 (1億7,340万円)
 - ▼ 東京圏における交流・活動拠点の創出。
- 中小企業経営の支援 (897万円)

農業

- 競争力ある農業生産体制の構築 (9,086万円)
 - ▼ ICT機器を活用した生産性向上を図るためのモデル事業に対する支援。
- 農産物の流通・販売戦略の強化 (2,054万円)

環境

- SDGs未来都市の推進 (150万円)
- 低炭素化の促進 (2億3,187万円)
 - ▼ 再生可能エネルギーの地産地消の事業化に向けた地域新電力会社の設立準備。
- 廃棄物の適正処理の推進 (28億2,859万円)
 - ▼ クリーンセンター下田原の整備・供用開始。



行財政基盤の強化

- 自主財源の積極的な確保 (4,457万円)
 - ▼ 上下水道料金へのスマートフォンアプリを活用したキャッシュレス決済の導入。
 - ▼ 市税へのクレジットカード収納の導入準備。
- 資産管理の適正化 (7,735万円)
 - ▼ 旧一条中学校跡地の利活用に関する事業者の公募・選定の実施。
- ICTの利活用の促進 (4億758万円)
 - ▼ スマートシティの実現に向けた実証実験への支援。
 - ▼ 保育所入所業務におけるAI・RPA^(※3)活用の実証実験の実施。
 - ▼ AIによる自動応答サービスとRPAの導入業務の拡充。



※1 ICT（情報通信技術）やデータ分析などの先端技術を使って、豊かでより良い暮らしを送ることができる都市のこと。

※2 国連サミットで定められた、地球全体で取り組む17個の持続可能な開発目標のこと。

※3 Robotic Process Automationの略。業務をAI（人工知能）などの技術を備えたソフトウェア型のロボットが代行・自動化すること。

令和2年度 一般会計当初予算 2,130億円

「今を生きる・未来を

安全・安心の未来都市

総合的な治水・雨水対策の推進 (18億7,726万円)

■治水対策

- ▼河川の護岸強化。
- ▼堆積土砂の除去、河道内樹木の伐採。
- ▼水門の修繕・更新。

■河川への流出を抑制する流域対策

- ▼公共施設への雨水貯留・浸透施設タンクの設置。
- ▼公園や学校における雨水貯留機能の強化。
- ▼雨水流出抑制対策として調整池の整備検討。

■土地利用対策

- ▼田んぼダム(※4)の試行・効果分析の実施および普及促進。

■減災・水防対策

- ▼ハザードマップの作成・周知。
- ▼自主防災会による避難所の開設・運営訓練の実施への支援。
- ▼避難情報伝達体制の強化(防災ラジオ・登録制メール)。
- ▼消防水利マップの整備。

安心

■防犯対策の強化(2億3,660万円)

- ▼自治会などへの防犯カメラの設置補助の拡充。

■住宅・建築物の安全・安心の確保(1億7,548万円)

■愛護動物の適正管理(822万円)

協働・共生

■地域におけるまちづくり活動の活性化(7,855万円)

■女性の活躍推進に向けた事業者・大学生に対する啓発事業の実施(338万円)

■多文化共生の推進(340万円)

- ▼タブレット端末を活用した行政窓口での通訳支援の拡充。



子育て・教育の未来都市

子育て

■妊娠・出産の希望をかなえる支援(7億5,030万円)

- ▼不妊治療費の助成。

■教育・保育施設などへの給付・助成(190億3,951万円)

- ▼幼児教育・保育の無償化の実施。

■教育・保育施設などの供給体制の確保(21億9,262万円)

- ▼指定区域内の認定こども園整備への助成拡充。

■宮っ子ステーション事業の推進(13億7,254万円)

- ▼令和3年度からの子どもの家事業の新運営主体の公募・選考の実施。

■子どもの貧困対策の推進(4億6,635万円)

- ▼親と子どもの居場所づくり事業の実施。

- ▼生活困窮世帯を対象とした学習支援教室の拡充。

■児童虐待防止対策の推進(5,119万円)

- ▼要支援児童を支援する団体への助成拡充。

教育

■少人数学級の推進(1,029万円)

- ▼35人学級を小学校全学年に拡大。

■「宇都宮学」の推進(1,335万円)

- ▼小学校5・6年生での「宇都宮学」の授業実施。

■小・中学校の整備(17億4,309万円)

- ▼学校体育館の長寿命化改修工事の実施。

- ▼中学校体育館への空調機器の導入(令和3年度設置)。

■2022年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備(9億9,605万円)



健康・福祉の未来都市

健康

■感染症などの対策の推進(15億413万円)

- ▼ロタウイルスワクチンの定期予防接種の実施。

■生活習慣病予防対策の推進(2億5,219万円)

- ▼AIを活用した特定健康診査未受診者への受診勧奨の実施。

■歯・口腔の健康づくりの推進(2,993万円)

■健康ポイント事業の実施(6,349万円)

福祉

■高齢者の生きがいづくりの推進(2億9,856万円)

- ▼高齢者の外出を支援するバスカード助成の拡充。

■生活困窮者の自立支援(6,679万円)

- ▼訪問型のアウトリーチ支援員による就労支援の実施。

■地域療養支援体制の推進(2,774万円)

■認知症対策の推進(1,010万円)

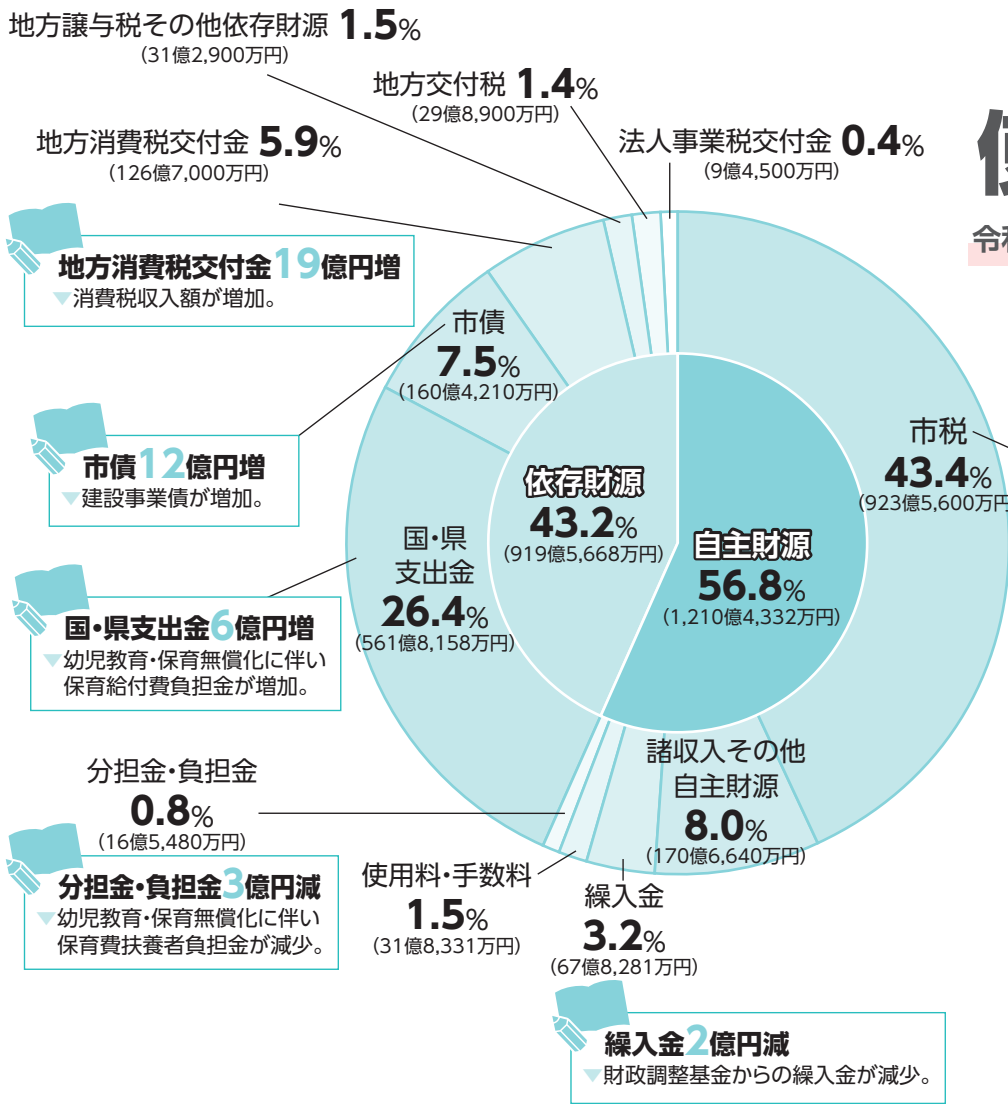


歳入

宇都宮市の お金の 使いみち

令和2年度一般会計当初予算

2,130億円
対前年度予算比
35億円(1.6%)減



地方消費税交付金19億円増
▼消費税収入額が増加。

市債12億円増
▼建設事業債が増加。

国・県支出金6億円増
▼幼児教育・保育無償化に伴い
保育給付費負担金が増加。

分担金・負担金3億円減
▼幼児教育・保育無償化に伴い
保育費扶養者負担金が増加。

繰入金2億円減
▼財政調整基金からの繰入金が減少。

市税23億円減
▼税率の引き下げなどにより、
法人市民税が減少。
▼健康志向の高まりにより、たばこ税が減少。

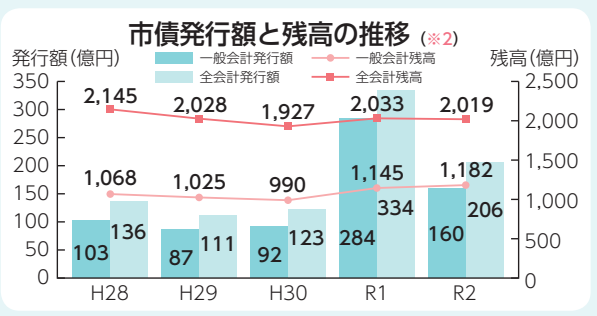
用語の説明

自主財源
市が自主的に収入できるお金

依存財源
国や県の決定や割り当てに基づいて交付されるお金

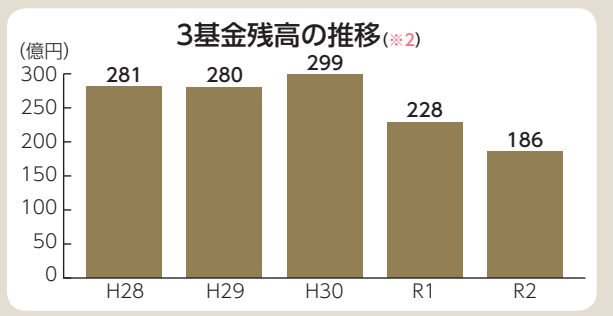
市債残高	一般会計	1,182 億円 (37 億円増)
	全会計	2,019 億円 (14 億円減)

市債とは道路・公園・学校など、公共施設の整備費用を長期的に借り入れるものです。整備時に多額の費用が必要となることや、次世代の人たちも利用することから、年度間の財政負担を平準化し、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担していただくためのものです。今後も計画的に活用し、健全な財政運営に努めます。



基金残高 (※1)	186 億円 (取崩額 50 億円)
-----------	--------------------

基金とは決まった目的のために積み立てている資金で、財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金などがあります。今年度は、公共建築物長寿命化事業などの財源として公共施設等整備基金を20億円活用する他、財源不足に対応するため、財政調整基金を15億円、減債基金を15億円の合計50億円を取り崩しています。今後も社会経済状況の変化などに対応できるように、残高の確保に努めます。



◎この特集の金額表示 増減額の表記は前年度の予算額と比較したものです。また、表示単位未滿を四捨五入しているため、合計金額と合わない場合があります。
※1 財政調整のための3基金(財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金)の合計。※2 H30までは決算額、R1は決算見込額です。

歳出 (目的別)

特集 ②

労働費、予備費など **0.0%**
(9,106万円)

農林水産業費 **1.1%**
(22億5,284万円) 議会費 **0.5%**
(9億7,630万円)

消防費 **2.6%**
(54億6,975万円)

公債費 **6.1%**
(130億3,867万円)

商工費 **6.6%**
(140億8,329万円)

衛生費 **7.9%**
(168億1,359万円)

総務費 **8.9%**
(189億9,847万円)

教育費 **10.2%**
(217億2,646万円)

土木費 **16.8%**
(358億7,957万円)

民生費 **39.3%**
(836億7,000万円)

衛生費95億円減
▼エコパーク下横倉の建設完了やクリーンセンター下田原建設に関する費用の減少。

教育費16億円増
▼清原体育館、屋板運動場の改修や幼児教育の助成に関する費用の増加。

民生費21億円増
▼幼児教育・保育の無償化に伴う給付や認定こども園の整備などの助成に関する費用の増加。

用語の説明

- ▼ **民生費** 高齢者や障がい者、子どもなどの福祉のためのお金
- ▼ **土木費** 道路や公園などを整備するお金
- ▼ **教育費** 学校の運営や社会教育などのお金
- ▼ **総務費** 市役所の一般的な事務などのお金
- ▼ **衛生費** 病気の予防やごみ処理などのお金
- ▼ **商工費** 商業、工業の振興や観光イベントなどのお金
- ▼ **公債費** 借りたお金の返済のためのお金
- ▼ **農林水産業費** 農業、林業、畜産業などの振興のためのお金

詳しくは市HPを見てね♪

土木費45億円増
▼LRTの整備や小幡・清住土地区画整理事業に関する費用の増加。



ID 1010664

歳出 (性質別で見た場合)

義務的経費

1,037億3,541万円
(16億円増)

扶助費	27.8%
人件費	14.8%
公債費	6.1%

▼幼児教育・保育の無償化の通年化に伴い、扶助費が増加。

投資的経費

357億4,531万円
(39億円減)

普通建設事業費 16.8%

▼エコパーク下横倉の建設完了やクリーンセンター下田原建設事業費が減少。

その他の経費

735億1,929万円
(11億円減)

物件費	13.0%
繰出金	7.0%
補助費等	6.7%
貸付金	5.7%
維持補修費	1.1%
積立金・出資金など	1.0%

▼プレミアム付商品券事業の完了に伴い、補助費等が減少。
▼中小企業融資制度預託金の減額により、貸付金が減少。

特別会計 1,148億円 (32億円増)
企業会計 446億円 (21億円増)

特別会計の特色

- ▼高齢化の進行に伴い、介護保険特別会計が増加。
- ▼国際自転車トラック競技支援競輪の開催により、競輪特別会計が増加。

特別会計	当初予算額	特別会計	当初予算額
国民健康保険	494億7,319万円	駐車場	1億4,807万円
介護保険	338億6,663万円	都市開発資金事業	2億8,363万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億9,665万円	鶴田第2	7億4,094万円
後期高齢者医療	58億8,471万円	宇大東南部第1	9億8,294万円
生活排水処理事業	16億8,666万円	宇大東南部第2	14億1,780万円
競輪	190億7,381万円	岡本駅西	8億883万円
		育英事業	2億1,918万円

企業会計の特色

- ▼上下水道施設の耐震化や老朽化対策など建設改良費が増加。

企業会計	当初予算額
水道事業	201億2,630万円
下水道事業	235億6,312万円
中央卸売市場事業	9億2,934万円